# チーム沖縄　世界へ挑戦

## 本番へ 準備万端

### 豪州に車両輸送

【八重瀬】10月16日から開催される世界最大規模のソーラーカーレース「ワールドソーラーチャレンジ2011」に、県勢として初挑戦するチーム沖縄（協賛・琉球新報社など）が3日、開催国のオーストラリアに向けて参戦車両レキオンと関連機材を搬出した。

活動拠点の南部工業高校（八重瀬町富盛）で輸送トラックに積み込んだ後、同日中に琉球海運の貨物船「かりゆし」に載せ、那覇新港から経由地の大阪に出航した。レキオンは来月1日にメルボルンに到着予定で、レース出発点のダーウィンまで陸路で運ばれる。

チーム沖縄の金城孝作君(17)や宮里宗一郎君(18)＝ともに南部工業3年、平良彬君(17)と目取真侑樹君(17)＝ともに2年＝は「ようやくスタートラインに向かった思いだ。レースまでの残り1カ月、スポンサー回りに精力的に動きたい」と語った。レースドライバーを務めるパシフィックテクノカレッジ学院自動車整備科1年の神里太貴君(18)＝同高OB＝は「体調管理に気を付けて本番に挑みたい」と気を引き締めた。

チーム沖縄は、協賛企業や個人からの支援などを募っている。問い合わせはEメールinfo@teamokinawa.jp

トラックにレキオンを積み込むチーム沖縄のメンバー＝3日、八重瀬町富盛の南部工業高校

**（2011年9月4日付　22面）**

☆世界最大規模のソーラーカーレースに挑戦する「チーム沖縄」に応援メッセージを送ろう！

年　　組　名前